

## 海技者への道を後押し

～ 東京海洋大学海洋工学部 1・2 年生対象の講演会について ～

日本船主協会は、2008 年 7 月に「人材確保タスクフォース」を設置し、船員教育機関と連携しつつ優秀な日本人船員（海技者）確保のための広報活動を行っている。今般、その一環として、海技者を職業として意識してもらうことを目的に、1 月 21 日(水)、23 日(金)に東京海洋大学海洋工学部の 1 年生と 2 年生を対象とした講演会を実施した。

講演会の模様



海事システム工学科講演会講師、司会を務めた日本郵船 小川順也 船長

この講演会は、東京海洋大学海洋工学部で 2010 年度から 1・2 年生向けに実施しており、今年度で 5 回目。1 年生については、海運業界と海技者への関心を深めてもらうことを目的に、2 年生については、海技免状を取得できる学科またはコースの選択時期を控えていることから、海技者を将来の選択肢としてより具体的に意識してもらうことを目的としている。

今回の講演では、まず、当協会会員会社の船長もしくは機関長から、海運業の概要や将来性、環境への取り組み、海技者のキャリアパスについて説明した上で、学生と年齢の近い若手海技者が自らの体験談を基に、志望動機、学生時代に準備しておくべきことや就職活動、本船での業務や生活、下船後の休暇の過ごし方に至るまでを紹介、2 年生に対しては、海技者という職業をより意識してもらうべく、学生の目を意識した構成とした。

講演後の質疑応答では、聴講した学生から「専門学科以外の授業で実務に役立つものは?」、「大学時代に一番力を入れた事は?」、「就職活動のコツは?」、等の質問が出され、各講師が自らの経験等に基づき丁寧に回答した。

講演終了後、学生からは「海技者の業務が海上、陸上、海外と多岐にわたることが分かった」、「より海技者志望が強くなった」等の感想が寄せられた。

当協会は今後も人材確保 TF を中心に、東京海洋大学等、船員教育機関との連携を深めていくこととしている。



海洋電子機械工学科講演会講師、司会を務めた川崎汽船 豊田修司 機関長



(写真左から) 海事システム工学科講演会若手講師  
川崎汽船 齊藤拓郎 二等航海士、  
日本郵船 松井 亮 三等航海士、  
商船三井 栗田純一郎 二等航海士



(写真左から) 海洋電子機械工学科講演会若手講師  
日本郵船 高橋 巧 二等機関士、  
商船三井 福澤雄来 二等機関士、  
川崎汽船 松本 勲 三等機関士